

離乳食教室を通じた若い世代への食育推進の実施

- 入間市では、「朝食を食べること」「副菜をとること」を重点的な取組とし、現在は「第3次元気な入間食育推進計画」（令和6年度～令和17年度）において、「『食』を通して生きる力を育む」を基本理念として、朝食や副菜の摂取状況等の指標達成に向けた取組を推進している。
- 食育教室では、「朝食と副菜で元気な入間」を目的に、若い世代、とりわけ乳幼児期の子どもの発達に合わせた離乳食についての講話と試食を実施している。また、基本的な出汁の取り方やバランスのよい食事など、全ての世代に共通する食に関する話も取り入れることで、食への関心を高め、普段の食生活を見直す機会を提供している。

埼玉県



入間市

【取組の内容】

○ 食育教室

「はじめての離乳食」と「7か月からのもぐもぐ離乳食」の2種類の教室を開催し、子どもの発達に合わせた離乳食についての講話、試食の提供、フードモデルの展示等を実施している。

講話の中では、離乳食の話のほか、出汁のとり方、朝食の重要性、バランスのよい食事を取ることの大切さ等についても話している。

「7か月からのもぐもぐ離乳食」で提供する試食には、実際に昆布とかつお節からとった出汁を利用している。



【取組の成果】

○ 食育教室

離乳食の話のほか、出汁のとり方、朝食の重要性、バランスのよい食事を取ることに等について話したところ、受講者からは「食文化への関心が高まり、普段の食生活を見直す機会とすることができた。」等の感想が寄せられた。

【事業の目標】

① 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている者の割合

事業実施前 36.4%

→事業実施後 58.3%

② 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合

事業実施前 77.1%

→事業実施後 95.3%

